

【報道関係各位】

一般社団法人日本能率協会  
KAIKA 研究所

**過去受賞組織が感じた「KAIKA Awards受賞の効果」**  
**左官人材の幅を広げた原田左官工業所、**  
**前人未踏のプロジェクトへの社内理解と参画が進んだ日産自動車**  
**本年度の企業・組織エントリー、6月29日(金)中まで受付**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、社会価値を生み出す持続的な経営、組織・人づくりを行っている取り組みを称え、紹介するための表彰制度として「KAIKA Awards（カイカワード）」を設けています。過去受賞組織からKAIKA Awardsを受賞することによって、対外的なブランディング効果に加え、採用時の組織イメージのマッチングや、対内的なステークホルダーのモチベーション、組織の活動意義の再確認など様々なメリットがあると、好評の声をいただいています。新たに、過去受賞組織の「有限会社原田左官工業所」と「日産自動車株式会社」の2社から寄せられました。

2018年度エントリー募集締め切り日が、**2018年6月29日(金)**に迫っており、是非、貴媒体で事例を含む表彰制度活用メリットのご紹介をご検討頂けたら幸甚に存じます。

**原田左官工業所:女性職人の活躍に注目、遠方(鹿児島県)の高校から問い合わせも。**

2017年度KAIKA大賞受賞・有限会社原田左官工業所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：原田宗亮）において、組織認知の高まりによって人材採用の幅が広がった事例

**受賞テーマ：**「次世代の左官職人育成プロジェクト」

**寄せられた声：**

■あこがれが採用を生む

左官という職業の認知をもっと高めたいという想いで応募しました。左官を知ってもらうことで建物に採用する人が増え、左官で働く人も増えてきました。少しずつこれまでの活動が実を結び、若手も育ってきている実感を持つことができ、応募することに至りました。その活動を大賞に選んでいただき、非常にうれしいです。表彰式では多くのメディアの方から取材をしていただき、それをきっかけに知る方もいらっしゃるの、採用にも活用させていただいています。

女性職人の活躍なども注目され、働きがい、働きやすさ、という点でイメージが高まったのもありがたいですね。職人育成システムがあるということで、遠方の高校から採用の問い合わせがくることも増えてきました。

■見せる仕事、魅せる仕事へ

本賞では当社の「働き方」、「様々な人材を活かす」ことにも着目していただき、従業員のモチベーションアップにも繋がっています。また、今回は当社が表彰を頂きましたが、東京左官育成協会の同業メンバーとも、左官の良さをもっと世に知ってもらうために、新人育成に取り組んでいきます。技能伝承に励み、左官という仕事をもっと魅力的な職業にして伝えていくために、今後とも努力を続けていきます。



代表取締役社長：原田宗亮氏



## 活動概要 :

左官の伝統的な仕事の価値を見つめなおし、さらに安定かつ魅力的な職業であるために、「(1)左官という仕事を増やす」「(2)左官で働く人を増やす」「(3)左官職人を育成する」の3テーマを進めたプロジェクト。一社での取り組みだけでなく、業界団体のPRを主導し、また同業他社8社で私設の東京左官育成協会をつくり、新入社員の共同育成を行う等、社会視点に立った働きかけを牽引的に行っている。また、女性職人の産休・育休後復帰も実現するなど、効率面、制度面、働き方面に工夫をこらし、一人ひとりが成長できる職場づくりを進めている。さらに、従来のマジョリティであるベテラン男性社員達の意識変革、ベネフィットにもつながっている（綺麗な作業着、福利厚生他）。

## 日産自動車:ユーザーとの共創という未知への挑戦。社内の理解と、参画の熱量を喚起

2016年度KAIKA賞受賞・日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：西川 廣人）において、組織の取り組みが社内全体に伝わることで、理解が深まり社員エンゲージメントが向上した事例

**受賞テーマ：**「奥会津・EV移動販売車プロジェクト」

**寄せられた声：**

### ■外部の視点が内部を変える

10年先の社会で利活用される車をどうつくっていくか。これまでは部署の中、自分たちだけで考えがちでした。しかし実際に地域に赴き、ユーザーと共に考えていこうという熱い思いで、試作まで実現したプロジェクトでこの賞をいただきました。ユーザーとともに、これからの社会を見据えながら開発を進めるやり方は社内でも経験がなかったのですが、外部から認められ、お褒めをいただいたことで、担当者の自信と社内への認知が上がりました。部署の壁がみるみる低く、薄くなり、理解者が増えてきたことを感じます。

### ■共に振り返り、内省する機会に

自分たちではこのような開発手法がこれからの時代に重要であるという自負はありましたが、前例は少なく社内での理解を得てから進めるのではスピード感が得られませんでした。小さな活動としてスタートして効果を実感し、さらに表彰というもので外部視点での評価をいただけたのは非常に有効でした。受賞に向けたプロセスで審査委員がヒアリングに来られたことを機会に、地域住民の方の声を改めて聴くことができたのはよかったですね。そこで聞いた言葉をプロジェクトの説明をする際に使わせてもらっています。

## 活動概要 :

先行車両開発部（EV [Electric Vehicleの略、電気自動車。近年、資源制約や環境問題への関心の高まりを背景に注目を集めている] 開発担当者たち）が、EVの可能性を模索すべく社内チームを募り、過疎・高齢化地域である福島県奥会津において、ビジネスモデルづくりに取り組んだ活動。住民の行動観察により、EVの持つ新たな可能性を探求し、EVの特徴を生かして過疎地域に暮らす人々の生活を改善・活性化を図った。地域の大学や企業・住民との連携によるアイデア創出活動を通じた人材育成も行う。

## 【KAIKA Awardsとは】

日本能率協会（JMA）では、「個の成長、組織の活性化、組織の社会性（広がり）」を同時に実現していく運動を「KAIKA」と定義し、その取り組みを促進・支援する活動を行っています。「KAIKA」は開花・開化を語源とする造語です。社会課題の解決につながる、組織としての力強い取り組みや画期的な取り組みを、表彰を通じて紹介することにより、活力ある経営・組織が増えていくことを目指しています。

## 【応募要項】

### 1. 応募対象

「KAIKA」に意義を認め実践している組織

(全社・全組織ならびに事業部、部門、プロジェクトなどの組織単位)

#### ■全社・全組織の取り組みとして

- ・経営理念を体現する風土が根付き、多様性を活かした組織運営がなされている
- ・社会課題を解決する取り組みや、3カ年計画で掲げたスローガンを実現した
- ・個々の社員が育つ特徴的なプログラムを実施している

#### ■プロジェクト・部門の取り組みとして

- ・部門の力を結集して世に必要とされる事業を進めた
- ・プロジェクトを通じてメンバーが大きく変化・成長した
- ・社会とつながる活動を行っている

など

### 2. 賞の種類

- ・KAIKA大賞 (全社・全組織の部 プロジェクトの部)
- ・KAIKA賞 (全社・全組織の部 プロジェクトの部)
- ・他 (審査委員会の決定による)

### 3. 受賞要件

- ・KAIKAモデルの実践<個の成長、組織の活性化、組織の社会性(広がり)>がはかられつつあり、ねらった成果に近づくことが予見されること。
- ・「継続・発展の可能性」「力強さ・新しさ・ユニーク性」「影響力と変化(社会的意義と価値、意識や関係性の変化、個人の成長と組織力の発揮)」が認められる活動であること。

### 4. 審査

審査委員会は実務家、学識経験者、専門家、コンサルタント等の第三者機関として構成され、審査プロセスの一部は、検討委員に委嘱して実行します。

#### ■スケジュールと審査プロセス

|          |  |
|----------|--|
| 6月29日(金) | Webエントリー受付締切<br>応募フォーム ( <a href="http://kaika-management.com/awards/2018entry_form">http://kaika-management.com/awards/2018entry_form</a> )<br>※審査対象資料のご提出は、エントリー締切より1か月後の7月31日(火)です。 |
| 7月31日(火) | 説明資料ご提出締切  |
| 8月       | 一次審査(書類審査)<br>応募組織から提出された書類の審査   |
| 9~10月    | 二次審査(現地審査)<br>応募組織の関係者へのヒアリングによる審査   |
| 11月      | 最終審査(委員会)<br>審査委員会による審査  |
| 12月~翌2月  | 決定・プレスリリース<br>フィードバック<br>広報活動・表彰式  |

### 5. 受賞件数

- ・審査委員会の決定による

### 6. 応募費用

- ・無料

## 【説明会実施概要】

なお、本年度のご応募についての説明会を開催いたします。

- 日時：6月 6日（水） 15：30～17：00  
6月18日（月） 15：30～17：00
- 会場：日本能率協会 研修室（〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22）
- 内容：（予定、各回同じ内容）
  - ①表彰を活用した組織活性化を考える
  - ②表彰の効用～内部表彰と外部表彰～
  - ③KAIKA Awardsの事例紹介
  - ④応募要項の説明
  - ⑤質疑応答・個別相談
- お申込み：下記フォームからお申込み  
<http://kaikaproject.net/awards2018setsumeikai/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

PR 事務局  
共同ピーアール株式会社内  
（担当：都築、阿蘇品）  
TEL：03-3571-5228（部署直通）  
FAX：03-4540-8325  
E-mail: [jma-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:jma-pr@kyodo-pr.co.jp)